

【 観光環境教育研究領域 】

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
観光環境研究演習Ⅰ	4	李 鎮栄	論文の書き方はもちろん、論文長のフォーマルな文の書き方について指導していく。演習なので「論文」が生産できるように指導していく。
観光環境研究演習Ⅰ	4	新垣 裕治	新たな観光の分野としてエコツーリズム (E c o t o u r i s m) が世界的に注目を浴びている。日本では '90 年になり一般的に使われるようになってきた用語で、一般的には「訪問地の自然・文化をより深く知り・学び、自然・文化の保護・保全と地域の振興に寄与する観光形態」と理解される体験型の観光を示す概念である。沖縄県では、1996 年に日本初の西表島エコツーリズム協会が設立、その後 '99 年には日本で 2 番目の東村エコツーリズム協会が設立され、エコツーリズムの取組みが比較的早くから起こった先進地域と捉えられている。しかし、現状としてはエコツーリズムの導入 (エコツアー実施) による環境の悪化等様々な問題が顕在化し、必ずしもいい状態であるとは言えない。本演習では、このような様々な現状の分析や課題・問題を解決するための調査研究を主に環境の側面から行うことを目的として行われる。
観光環境研究演習Ⅰ	4	大谷 健太郎	本演習のテーマは「地域における望ましい観光のあり方」であり、地域振興やまちづくりの中で観光を位置づけ、政策立案ができる能力を身に付ける。そのためには、観光学はもちろん、基本的な経済学の知識が必要であり、統計分析ができる能力や政策科学の学習も必要である。さらに、問題を細微にわたって分析できることと、常に広い視野を持ってポイントを押さえることも要求される。 したがって、本演習では、理論と実践の意味連関を重視し、フィールドワークによって実践力を身に付け、単なるレポートや論文でない、「生きた」方策が論理的に組み上げられるように訓練する。 また、論文の基本的なルールからはじまり、構成や引用、先行研究のまとめ方など修士論文に必要な基礎力もあわせて指導する。
観光環境研究演習Ⅱ	4	李 鎮栄	論文の書き方はもちろん、論文調のフォーマルな文の書き方について指導していく。演習なので「論文」が生産できるように指導していく。

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
観光環境研究演習Ⅱ	4	新垣 裕治	同演習Ⅰで行ってきた内容を充実発展させ修士論文としてまとめることを目的として行われる。
観光環境研究演習Ⅱ	4	大谷 健太郎	演習Ⅰに引き続き、同様のテーマで修士論文を執筆する。演習Ⅰで得た内容を発展させ修士論文にまとめ上げることを最終的な目標とする。 また、修士論文の途中経過をまとめ、学会発表などに投稿する論文の指導も併せて行い、論文に必要な基礎力もあわせて指導する。
観光開発特論	2	大谷 健太郎	観光開発は、地域振興を目的とした観光政策であるので、本講義では公共の利益を重視した公共政策的アプローチを採用する。したがって、観光開発の目的を社会的厚生を最大化とし、観光開発が経済社会や環境、文化に与える影響をはじめとする開発と地域の関係に重点を置き、望ましい開発の理念と手法の説明を中心として講義を進める。本講義では、まず、国内的・国際的に汎用性のある観光開発の概念や仕組みを総論的に学ぶ。その後、方法論として観光開発の計画評価に必要な社会的費用便益分析や多基準分析、地域計画実践の際の需要予測手法や多変量解析手法などについての考え方を説明し、具体的事例を用いながら評価方法の技術的側面の理解をめざす。
観光政策特論	2	大谷 健太郎	近年、観光基本法を全面的に改正し、インバウンド・ツーリズムの推進や地域活性化などをキーワードにして観光立国推進基本法が施行された。観光による地域活性化の目的は、国および地域の魅力増大によって来訪問が増加し、観光の地域経済的社会的効果を最大化することにあり、その効果を予測および検証する政策評価の過程が重要である。本講義では、第一に国内外における観光政策立案方法と事例を概観する。その後、政策立案に関わる事前評価および政策実行の効果に関わる事後評価の政策マネジメントサイクルを理解し、地域の活性化を目的とした観光政策の評価手法の講義を行う。

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
島嶼開発特論			<p>Welcome to my special lecture on island sustainability focusing on islands of Okinawa. Upon completing this class, students should be able to learn various concepts and tools or model cases to analyze the current issues facing island sustainability such as socio-economic development and environmental conservation, work-life balance, sustainable community, sustainable agriculture, sustainable tourism, networking and human resources development and sustainable policies and management. Learn actual methods and practices of sustainability through visiting local communities, industry, typical tourism sites and public authorities. Construct your own sustainable models or arguments based on data / interviews/case studies. You are requested to present your field research findings and in-depth analysis toward the end of class. You are requested to submit a quality term paper at the end of this semester. This course aims at three Es, namely, Empowerment, encouragement, and Enjoyment.</p>
島嶼文化特論	2	李 鎮榮	<p>日本の周辺に位置する沖縄県のような島嶼社会の場合、中央に対する求心力と「外」に対する遠心力の両方の力が作用している。島嶼社会は規範文化から「周辺の位置」に在るだけでなく、市場経済においても中央の支配を受けやすい。沖縄のような島嶼群からなる社会が持つローカルティニー性について学習し、どういふ開発の仕方が望ましいのか考察していく。</p>
異文化接触特論	2	李 鎮榮	<p>既存の社会に新しい風穴を開けるのは常に「異人」である。異質なもの・異業種の集合体が繁栄することは容易に観察できる。この講義では、国境の越え方や境界を越境する意味について講義する。また、「異文化」を通して人間の普遍的な価値について構造人類額の観点からアプローチする。</p>

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
ホテル実務特論	2	黒江 浩紹	<p>沖縄の観光産業は、1972年の復帰以来順調に推移し、よくも悪しくも評価されてきた。では、沖縄観光の特徴はどのように変化してきたか。沖縄観光の競争優位はどこにあったのか。今後はどのような点で競争優位を発揮できるのか。このような沖縄観光の基本問題を、過去現在に分けて検討し、沖縄観光の将来方向を探ってみる。</p>
エコツーリズム特論	2	新垣 裕治	<p>エコツーリズムとは、一般的には「訪問地の自然・文化をより深く知り、学び、自然・文化の保護・保全と地域振興に貢献する観光形態」と理解される。エコツーリズムは従来の観光の反省に立って考えられた観光の一形態であり、これまでの観光のイメージを大きく変える可能性を持っている。本講義では、エコツーリズムの概念、ツアー事例、エコツーリズム資源と構成要素等を通してエコツーリズムへの現状についての理解を深め、これを基にエコツーリズムの課題について考察していく。</p>
観光市場分析特論	2		<p>本講義は、沖縄観光の現状と問題点、課題把握のために、全国的な旅行市場の動向、観光地の動向等の統計データ、資料に解説を加えながら、その把握手法について講義する。本講義は、沖縄で唯一観光学科を有する本大学学生として、学生諸君が沖縄観光の現状と課題に対しての知見を持つと共に、観光動向に現状分析把握手法を理解して、国、県や市町村の観光行政における計画実務者向けの素養を修得する事に力点をおく。</p>
観光資源特論	2	許 点淑	<p>観光資源には自然景観などの自然資源と文化的・社会的資源の人文資源に大別できる。本講義では主として後者に「文化」の視点からスポットを当てる。有形・無形観光資源も歴史の変遷とそれを取り巻く社会変化を連動させながら、世界各地の事例から観光資源への人類学的意味づけを行うものである。</p>

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
島嶼生態学特論	2	新垣 裕治	<p>島に棲息する生物と環境の関連、あるいは生物同士の関わりを生物の適応・進化・多様性などの観点から扱う分野が島嶼生態学である。本講義では、島嶼県である沖縄を島嶼生態学の観点から捉え、生物・自然・環境等の特徴を明らかにしていく。また、これら特徴は沖縄の観光資源としても極めて重要であるので、観光との関連についても言及も試みる。</p>
観光文化特論	2	許 点淑	<p>本講義では、観光という人間行為の本質的なトピックを文化と関連づける研究成果に学びながら、前半では、観光と文化に関する理論的枠組みのディスカッションを中心に、後半では、世界の地域別事例研究から観光と文化の有機的動態を読み取っていくものである。</p>